

## 市民参加部会 議事メモ(第19回)

市民参加部会を下記のとおり開催します

○日時 令和6年1月11日(木) 13時30分～

○場所 市民活動サポートセンター

### 配布資料

第19回市民参加部会開催案内

第19回市民参加部会作業スケジュール

20231221 運営容疑会質疑応答議事メモ&要検討事項.docx

2024年度市民活動団体パネル展示募集要項(案)

2024年度企業CSR活動紹介パネル展示募集要項(案)

市民活動はじめの一步ワークショップ企画案～「やってみたい」をカタチにしてみませんか～

## 次第

### 1 報告

#### 1. 全体会報告

20231221 運営容疑会質疑応答議事メモ&要検討事項を元に全体会の振り返りを行った。

#### 2. センターイメージチェンジ事業

企業パネルの展示場所・展示期間について

市民活動フェアに出展していただいた4社の企業パネルについては、現在もすべてサポートセンター内に展示している。市民協働課では今後2月末まで展示を継続する予定である。

パネルの内容がそのままだとマンネリ化してしまうので、各企業に対して1月末をめどに展示内容の修正・更新を依頼しても良いのではないかという意見があり、市民協働課で検討されることになった。展示期間については、企業とのやり取りの中で出展企業側に確認することになった。

広がったサポートセンターの活用について

マイナンバーカードの交付場所が移動し、サポートセンターが大きく広がった。このスペースの活用方法について、市民参加部会のセンターイメージチェンジ事業の中で検討することになった。

以前から希望していたキッズスペースについても実現の方向で準備が進められている。その他、市民団体の制作物やパネルと机を組合わせた展示ブースのようなもの、ふなばしセレクションの展示スペースなど市民活動サポートセンターのイメージチェンジにつながるような活用方法について、2月、3月の部会で検討することとなった。

この基礎資料として、サポートセンターの平面図を部会メンバーへの配布が依頼された。

## 議題 2 今後の事業の準備スケジュールについて

第 19 回市民参加部会作業スケジュールを元に今期の 2024 年 5 月までの日程について確認した。

### 1. センターイメージチェンジ事業

#### パネル展示

2 月から募集を開始できるように 2024 年度パネル展示募集要項を確認した。一部のフォントの統一や表記の統一をして 2 月から募集を開始することとなった。また、電子申請システムの URL については、市民団体用・企業用に別々の URL になると思われるので、確定したものを掲載することが確認された。

### 2. 市民交流参加事業

#### 2-1. 学術講演会について

藤井先生の講演会について協議し、日程的に今期に実施することは困難なので、来期に持ち越すことになった。

#### 2-2. 公募型交流会について

前回検討した 202411 市民団体ワークショップ企画募集要項 ver2 に基づいて実施する場合には 7 月から募集が始まるので、今期にこれ以上は検討しないことになった。

公募企画の回数については、市民参加部会で 1 回、団体支援部会で 1 回のような形で回数を増やすことも次期に検討することを申し送ることになった。

#### 2023 年度市民団体企画公募日程

6 月下旬 サポートセンター登録団体一斉配信メールで予告を配信。

7 月 1 日～7 月 31 日 電子申請システムで交流会担当団体募集

8 月上旬 交流会担当団体選定 → 候補団体へのヒアリング → 担当団体決定

8 月下旬 広報原稿確定

10 月 1 日号 広報ふなばして企画の参加者募集開始

11 月上旬 参加者募集締め切り

11 月 16 日(土) または 17 日(日) 講演会当日

#### 2-3. 市民活動はじめの一步ワークショップ(南山委員)

市民活動はじめの一步ワークショップ企画案について、全体会配布資料と事前準備資料の両方を用いて、3 回連続企画として運用する場合と、単独の企画を 3 回実施するパターンの 2 つのパターンについて、残された今期の期間内にできる事を検討した。

検討の結果、どちらの形にするとしても、今期の残された期間で何かをしてしまうと、中途半端な形になってしまうので、本企画については、今期ではこれ以上は検討しないこととなった。

#### 2-4. GW 親子ワークショップ企画について

2023 年 5 月 7 日に行ったみらいアートワークショップのようなワークショップ企画をシモジマに担当していただけないかを谷合から打診することになった。シモジマでどこまで担当できるかどうかは交渉してみるが、講師できる人がいない場合には昨年もお願ひした相澤さんに講師を依頼し、シモジマには制作物の資材の部分を協力していただくという事が可能かどうかを打診することになった。

当日のアシスタントとして中高生などのボランティアを募集してはどうかというアイデアや保育ボランティアのサポートなどをしてもらおうボランティアを募集してはどうかというアイデアも出され、2 月以降に具体的に協議することとなった。

以上